

えくべん

4

立川と語ろう 立川に生きよう

April 2011

Écoutez Bien Vol.29 No.317

表紙の人／美容室でらさわのみなさん(柴崎町)



山に魅せられて

立川女子高校山岳部

高橋流 初心者のための登山教室

9

指導：高橋清輝

アシスタント：内山道子

山岳写真：桃井尚志、富島和子 協力：立川女子高校山岳部、同OG会

初めての冬山合宿。

サヤの日誌からその心境を追う。

冬山装備、歩行技術、凍傷——机上学習は一通りやった。でも、不安なことは次々と出てくる。学校の裏庭で冬山用テントを広げたら入り口のファスナーが壊れていた。修理に回す。冬山用ウエア……。ハルは手持ちのスキーウエアを代用するらしい。私は手持ちの普段着から、速乾性・保温性のあるものをチョイス。あとは伝統ある我が山岳部。歴代の先輩方が使ったクラブ所有の装備をお借りする。現役部員は冬山初心者の二人だけ。何かと心許ないが、年季の入った装備を手にすると安心する。目指すは北八ヶ岳の天狗岳。



合宿当日早朝、部室に集合。嬉しくて眠れなかったというハル。不安でいっぱいの私。立川駅から中央線に乗り、車窓から雪景色が見え始めると胸の鼓動はさらに激しくなった。

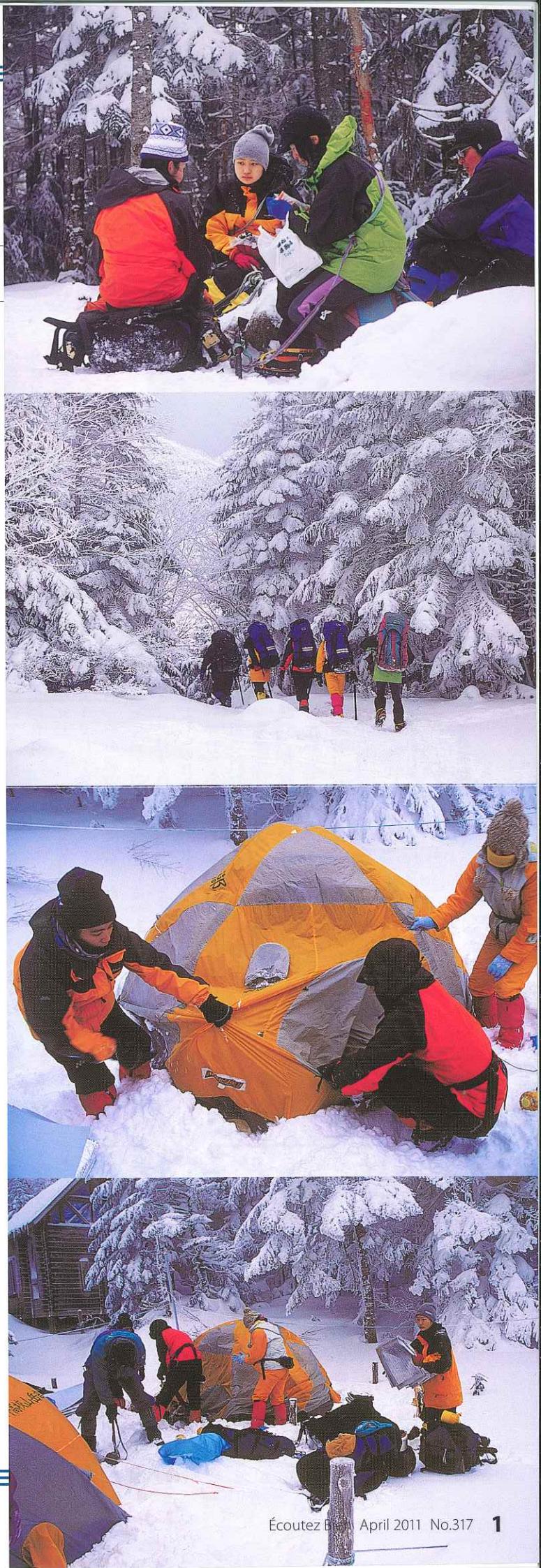
茅野駅から路線バスで登

山口へ。凍える手でアイゼンを装着して歩き出す。積雪約40cm。初めてのアイゼン歩行は足が重い。しかもバス酔いで調子が上がらず。背中の汗が冷えてガタガタ震えるが、励ましてくれるS先輩の優しい言葉に山岳部根性を出す。

粉砂糖をまぶしたような綺麗な雪景色。でも、余裕なんて全然ない。それなのにハルは、雪でしなった樹々の枝をピッケルで突いては、キラキラ舞い落ちる雪にキャッキャとはしゃいでいる。突然聞き覚えのある声。振り向くと、O先輩が猛スピードで追いつき合流。仕事の都合で2本後発の電車で出発したのだ。一気に皆のテンションが上がる。

ようやく黒百合平に到着。気温は-16°C。冬の陽が落ちるのは早い。休む間もなくテント設営。まずは皆で肩を組み雪面の整地。こうすることでテント生活の快適度が変わららしい。ポールをつなぐにも気を使う。ジョイントに雪が入ると凍ってしまい撤収が困難になるそうだ。次に、大きなビニール袋一杯に雪を探る。水も自分で作るのが。コップフル満杯の雪を溶かしても、できた水はごく僅か。これを何度も繰り返し「水作りは冬山の重要な仕事である」と知る。

やがて外は雪と風が舞う荒天に。明日晴れることを祈りシュラフにもぐる。しかし寒い。作った貴重な水を水筒に詰め、凍らないようシュラフの間に置いて寝る。テント内で水が凍る寒さ。果たして眠れるのだろうか……。(次号に続く)



御伽草子を 深く読む

國文學研究資料館

准教授
齋藤
真麻理
さん

【演劇】は、ものぐさ太郎　おもてなしの心

人々の暮らしと夢が息

齋藤 はい。主にアメリカ東海岸の圖

齋藤 室町から江戸にかけての説話研究です。博士課程二年、こゝへは、室町末に作られた経の注釈書を勉強し、

——今日ご紹^ハ介^スく^ダさるの^は……。
た。
ていました。面白いたとえ話や和歌、ことわざ、御伽草子とそつくりの話などが載つていて、興味を持ちました。御伽草子も室町から江戸にかけて作られたもので、「一寸法師」「ものぐさ太郎」なども御伽草子です。たいてい綺麗な挿絵があり、絵と一緒に楽しまれていきました。そこでいくつかの作品を読んでいるうちに、観音信仰が反映されている挿絵に出会ったのですが、本文にはそんなことは書かれていない。その時、本文だけではなく、「挿絵を読む」楽しさを知り、御伽草子も勉強するようになります。

——在米ですから、アメリカにある日本の絵入り本です
——在米絵入り本の「結合研究」という共同研究についてです。今年度から本格的にスタートして、三年計画で進めています。

たのかも知れませんね。また、人間以外のものが活躍する作品も、私は好きです。動物や植物、道具が擬人化され、人間負けの歌合をしたり、恋をしたり、見ていてるだけで楽しくなります。その上、実は『源氏物語』を踏まえているなど、作者の教養が隠れていたりする。当時の学芸、教養が盛りこまれ、知的な遊びに満ちているところ、魅力を感じます。

——調べるのは大変そうですね。
齋藤 謎解きみたいで楽しいですよ。古典というのは何か特別なものではなくて、何世代か前の人達が、実際に楽しんでいたものです。現代まで受け継いでいる部分も

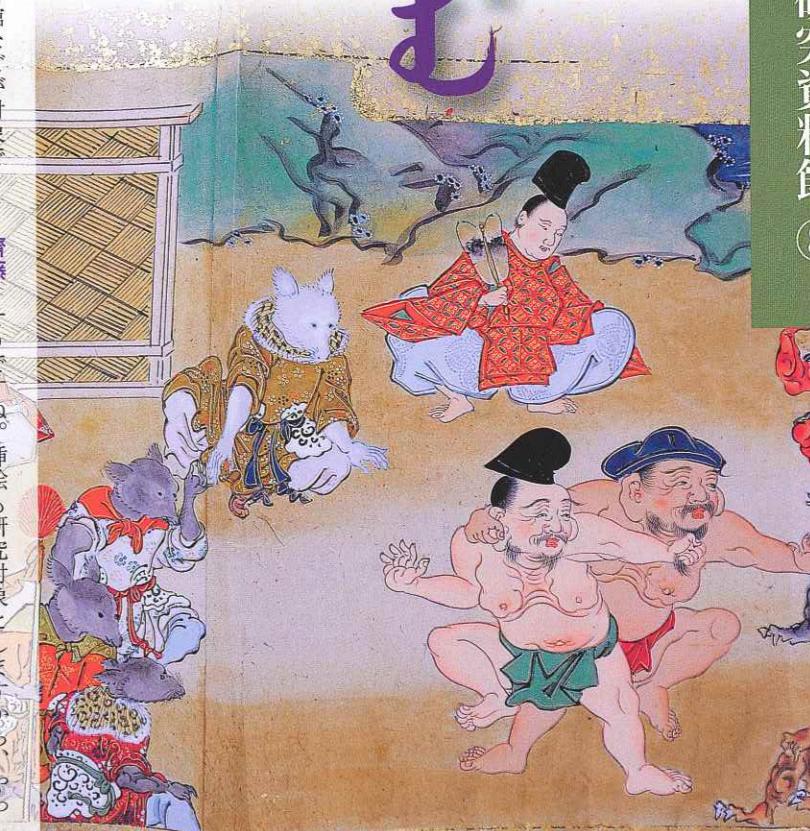
大事なことではないかと思ひます
——例えば、

人鼠と結婚、一度は生き別れになりますが、人間に助けられて帰京し、人間も白鼠から福を授かります。挿絵は白鼠ばかりです。ところで今はお正月に書き初めをしま

幸せであるようにと、おめでたい物語を読んでいました。この白鼠の話も読み初めの物語だつたようです。

白鳥は大黒の使者で、相を抱いていたい重物を運んでいたんですね。昔話「おむすびころりん」でも、主人公は鼠から宝物をもらいます。そして、こうした信仰は少し前まで生きていた。近代の作家、中勘助の書いたた

卷之三



——補い合つて……。
齋藤　ええ。数人のチームを組んでは、スペンサー・コレクションやメトロポリタン美術館、ボストン美術館、シカゴ美術館などに伺つています。素晴らしい絵入り本をお持ちのコレクターもいらっしゃいますが、どこに何があるか、完全には分かつていません。まずは基礎的な調査をもとに研究を進めて、成果は一般の方にも分かりやすくまとめ、出版する予定です。

——先生はこの中でも御伽草子を研究されているんですか？

ですが、特徴的なのは庶民物。庶民が主人公の物語は、それまでには余り例がないですよね。でも、御伽草子の時代には、庶民が活躍して富貴繁盛、めでたしめでたし、で終わる物語がたくさん作られました。庶民の夢を語つ

——鼻の穴に入れるんじゃないんだ（笑）。
齋藤違います（笑）。こんな俗信が入つ
てるのがまた面白いのですが。とんとん
拍子に豊かになつて親孝行していると、
大黒天が来て、隠れ蓑や打ち出の小槌な
どのお宝をくれる。挿絵では、大黒のお
供は白鼠でしょう？

さて、その日は節分で、誰かが荒々しく戸を叩く。すると、大黒天が「あれは鬼だ」ってささやくんです。そこで豆まきの方法を教わつて撃退するのですが、「さ

ですよね。ですが、かつて「ささやき」は神仏の託宣と詰びついていました。古典作品の中でも、祝詞をあげたり、神仏が

お告げを下す時—神仏と人とか言葉を交わす時—は、ささやく場合が多い。今の「ささやく」とは違うのだけれど、この言葉は今でも使うから、意味を知つてゐる

つもりでいる」と読み飛ばしてしまう。この大黒天のささやき、本来は神仏のささやき、お告げのイメージがあつたろうと思います。

——へ。そうだったんですか……。
齋藤 御伽草子には、その名も『ささやき竹』という作品
があつて、国文研も所蔵しています。昔話「牛になつた

花嫁」や落語「お玉牛」と近い話です。美しい娘に恋した老僧が、本尊のふりをして偽のお告げをささやき、失敗してしまうのだけれど、この挿絵、立派な身なりの僧侶が仮面かうじさやへているでしょう？（僧侶の罪深さを

強調する表現になつてゐるんですね。でも、他の図書館が所蔵している『ささやき竹』では仏間ではなく、僧侶も簡素な姿で描かれています。つまり、テクストによつて

【※国文研ホームページ 新奈良絵本データベースをご覧下さい】

観測事業を支える新技術

観測隊員から設営応援団へ

毎年6月に行われている〈南極設営シンポジウム〉。新世代の南極設営や南極で利用できる新しい技術を公開発表している。とにかく面白い! 今回は昨年6月の発表者22の人の中の1人林原さんに取材してみた。

林原勝美

1955年兵庫県生まれ。ヤンマー機器サービス(現ヤンマーエンジニアリング)入社。1981年から昭和基地の発電設備設計に携わった。南極へは6回行っている。2006年office LINとして独立。

写真提供: office LIN

南極設営シンポジウム

日本が誇る南極観測事業。国立極地研究所では毎年6月に〈南極設営シンポジウム〉を開催している。平成22年6月4日に開催された第7回シンポジウム講演にはテーマ別に22の発表があった。〈自然エネルギー〉〈環境〉〈情報〉〈居住・生活〉〈車両・輸送〉の5つのテーマには、それぞれユニークな発想と確かな技術が生み出した素晴らしい提案が盛り込まれ、どの発表を聞いていてもとても面白い。「それ、すぐうちで使いたい」そう思ってもおかしくない。今回はそのシンポジウムに参加発表した方の中から林原勝美さん(office LIN)に話を聞いた。

林原さんの発表は〈自然エネルギー〉をテーマに、「F式太陽光ボイラー(固定式短冊状反射鏡による線集光型集熱器)」について。太陽追尾機構やその駆動装置等を必要としないシンプル、且つ安全な構造の集光型集熱器は、様々な用途に利用することができるという。低開発国向けに現地製作を念頭に置いて試作した『井水沸騰殺菌器』の事例を基に、南極での使用の可能性について発表した。この取材は、その発表前に行ったもの。南極観測隊員の顔が、チラチラ見えるインタビューとなった。

南極へ行ったこと

——林原さんは何回南極に行かれているのですか?

林原 6回です。25次夏、27次越冬、32次越冬。37次に声がかかったんですが断つて。「その代わり次に声がかかったら断りませんから」と。で、次は40次。「前に断った時断らないって言ったよね?」ってことで、40次、41次と夏に続けて行きました。最後が49次夏です。

——断った時はなぜ断ったのですか?

林原 子供が受験だったんです。親が受けけるわけではないけれど、やっぱり嫁さんがひとりでやきもきするのは大変ですから。強固に反対されましたね。

——南極はやっぱり面白いですか?

林原 面白いですね。最初の時にはまっちゃったんです。

——その時はヤンマーにお勤めだったんですね?

林原 はい。24次まではいすゞの発電機だったのですが、25次で新しい発電棟ができる出力が大きくなるというのでヤンマーに変わりました。その時のプロジェクトに僕が入っていたということです。

——もともとのご専門は?

林原 自家用発電設備をレイアウト、デザインして、現地に納めて試運転し、お客様に引き渡すというのがもともとです。この昭和基地の発電システムもお前が設計したのだから、お前行けということで最初は行つたんですね。最初行った時は本当に大変でした。一番最初に昭和基地に入ったのに、最後まで残っていて、着ているヤッケなん

か一夏過ごしているからボロボロなんです。最終便のヘリでしらせに着いた。

——そんなに大変なのに、次々にいくことになったきっかけは?

林原 最終まで残っていても、設備が動くまでは進んでいなかった。だからしらせに着いても、本当に後ろ髪引かれる思いでした。長髪でしたからね(笑)。そんなとき、副隊長、当時内藤先生でした。

——バイオロギングの!

林原 そうです。内藤先生が呼んでいるというで怒られるのかなと思うながら行きましたら、「おれ、27次は越冬で行くから、お前來い」って言われて。後ろ髪引かれてますから、「はい!」って即答です。それからですね。

設営のこと

林原 南極へ行くからには自分の仕事はさて当たり前。それ以外に何ができるかを問われるわけです。設営の神様と呼ばれている人もいましたね。何でもできちゃうんですよ。日数が決まっていますから、僕なんかも最初の越冬の時は、ヤンマーのエンジン視ている時間よりも、雪上車のエンジン触っている方が長かった。

——縁の下の力持ち。何もなくて当たり前なんですね。

林原 何かあったら責められるわけです。停電なんかさせたりしたら、もう大変です。観測が止まってしまいますから。基本的に、



機械の人間は何でもできなきゃダメです。飛行機以外は運転します。

——その方達は設営というんですよね?

林原 設営には、機械、通信、医療、調理、環境保全、装備。建築、土木もありますね。

——今、極地研にも設営のオーソリティがいらっしゃいますよね? 石沢さんとか佐野さんとか。

林原 そうですね。何でもできる人たちですよ。佐野さんなんて、昭和基地の2階建て以上の建物は、みんな佐野さんが面倒みて建てたんじゃないかな。

太陽光ボイラー

——OBになられて、関西のOB会支部長もされていますよね。今はどんな活動をされているのですか?

林原 シニア向けの講演とか(笑)。

——お仕事の売り込みとかしないのですか?

林原 たまには。「沸騰したからこれ持つて行かない?」って太陽光ボイラーも見せてきました。

——見せてもらいます? 企業秘密?

林原 シンポジウムで発表しようと思っていたんですが、実験が成功するまでヒヤヒヤものだったんです。もし沸騰しなかったらどうしようって。で、やってみたら沸騰したんで(笑)。

——何にもしてないのに、太陽の光で沸騰するの?

林原 そうです。

——そんなに熱くなるの?

林原 なります、なります。

——この装置、触ったら熱いところあるんですか?

林原 ないです。太陽の光を当ててお湯をわかしているだけです。

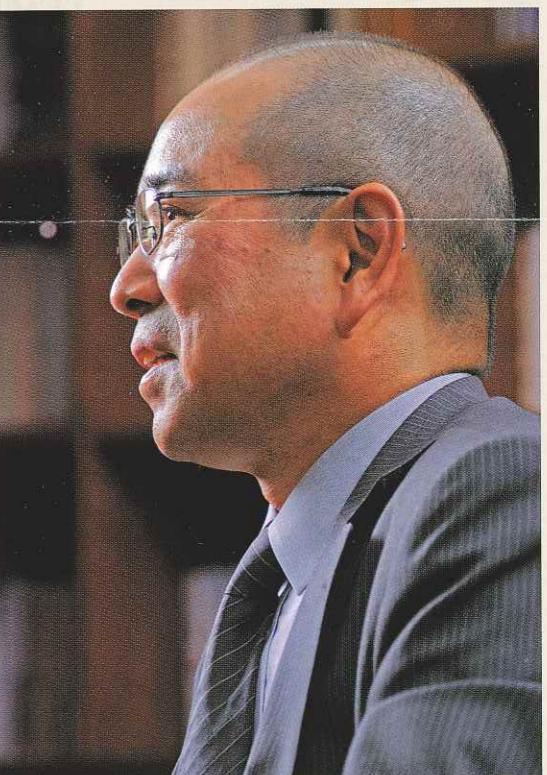
——私のイメージだと丸い形で、全部の光を一点に集める……。

林原 パラボラ型のですよね。それは市販されているんです。これはちょっと違う。パラボラだと太陽を追いかけなきゃならない。でもこれはパイプが東西を向いていて、鏡は太陽の角度に合わせておきます。太陽高度にね。太陽の追尾装置がいらないということです。これは火傷もしないし、火事にもならない。

——やけど、しない……。

林原 あの、これは鏡が入っているん

ですが、短冊形の長方形の鏡などで焦点を結ばないんです。熱くないというか安全というか。僕の先輩が機械設計をやっていて。ジャイカのシニアボランティアで農産品加工機械の技術指導にマラウイ共和国に2年行ってたんです。そこでは子供が飲料水を片道2時間かけて汲みに行くんです。井戸をODAの資金で作っても、井戸から出る水は汚染されている。安全な水を飲ませてあげたいということで、市販されているようなちっちゃな量ではなくて、200リッターくらいのペんに沸騰



させて冷ませば安全な飲料水になるという装置を作りたいと。先輩が病気になってしまったので、先輩を元気付けたいと、姫路辺りの学校のOB連中で考え始めたのがきっかけですね。それを南極で使えないかなと。南極に行っていろいろなこと勉強しましたが、こうして社会貢献できたら本当にいいなと思いますよ。あのシンポジウムにはいろいろ面白いアイデアができますね。エコなものはもちろん、フリーズドライの話とか、昆虫食とか、衣類の話とか。新しい世界を感じますよ。

えくてびあんの輪	
えくてびあんはリストのお店にいつもあります。今月は若葉町・栄町・高松町・曙町のお店です。	
若葉町	シルバーレストラン サラ 534-0602 Beauty Salon リラ 536-3048 浅見内科医院 537-0918 生鮮館 和光 立川店 538-3121 まんまる助産院 ひまわりハウス 534-9877 ありあい整骨院 534-1622
栄町	多摩信用金庫 栄町支店 536-9711 いなげや 立川栄町店 523-7201 ニュースサービス日経 立川中央 522-4507 チーズ王国 本社 525-9800 手作りパン工房 Bonheur ~ボヌール~ 536-3207 FUKUSHIMAYA 立川店 534-1700 相模屋酒店 536-2476 メンズカット ヤザワ 536-8738 森田接骨院 535-6240
高松町	和菓子郷 花奴萬葉庵 本店 0120-398785 丸助青果店 522-3542 Art Galleria & Café B3 070-6528-1415 米穀・食料品 横町屋 522-2609 Ohana bakery 526-5655 中華料理店 太幸苑 527-0906 ふじ整体院 540-9155 ライブハウス Crazy JAM 529-9507 創作家 ほしの 521-1170 レストラン いなつき 528-1470 ライブ喫茶 炭火煎珈琲はるひにあ 521-2959 立川伊勢屋 522-3793 書籍・雑誌 フレンド書房 527-1555 サロン・ケベクア美容室 527-4716 HAIR MAKES たしろ 525-2175
曙町	うなぎ しら澤 524-5061 久住ハウジング株式会社 527-8007 中国式健康マッサージ 養身堂 528-0366 不動産 大晋商事 525-3110 はじめ治療院 526-3519 ヤマハ エブリプラス 立川店 523-1431 蕎麦懷石 無庵 524-0512 TABACCONIST ゼフィルス 524-0514 ブティック ASHUTE VENI-VENI 521-1481 ピストロ シェ・タスケ 527-5959 あら井鮨総本店 522-2957 たましん すまいるプラザ立川 0120-667-646 三田花店 ルミネ立川店 527-5587 KIRIN COFFEE ルミネ店 527-2322 オリオン書房 ルミネ店 527-2311 オリオン書房 第一デパート店 523-3311 みずほ銀行 立川支店 524-3121 お菓子の家 エミリーフローラ 本店 527-1138 キャフェ クリムト 526-3030 宮地楽器 MUSIC JOY 立川北 527-6888 本格派ジエラート店 TAKE THE HONEY 523-8200 三井住友銀行 立川支店 522-2151 Italian Cuisine サヴィニ 525-1662 東京都赤十字血液センター 立川献血ルーム 527-1140 Art&Coffee Room 新紀元 528-6952 MOTHERS ORIENTAL 528-0855 多摩信用金庫 本店 526-1111 たましんギャラリー 526-1111 旬彩懷石 若草茶屋 526-0010 三上鰐節店 522-3259

jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我淨〉

スカイパーエフ TV: 216ch
マイ・テレビ アナログ: 11ch
デジタル: 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

挑戦してみました!「デザート教室」

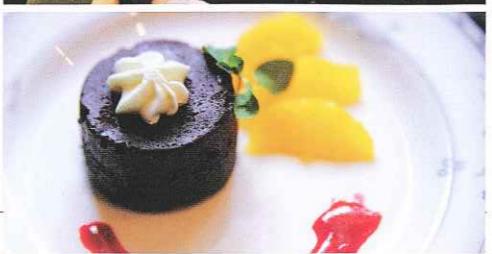
柴崎町にあるピストロ すぎ浦さんで毎年この時期に行われるデザート教室。バレンタインデーにちなんで、作るお菓子はチョコレートブディングとチョコレートマドレーヌ。先生がやっているのを見ると、なんだかすごく簡単そうなんですけど……。お店の紹介は、今月号の「この人この店」をどうぞ。

殻付き牡蠣が1600個!

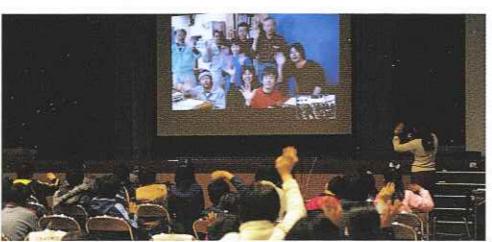
国営昭和記念公園に全国各地のアンテナショップが集まります。その名も「ふるさと交流お祭り市場 in 国営昭和記念公園」。昨年12月にオープンしたFMたちかわのお店「ふるさと多摩てばこ」には現在26市町村の名産品が。イベント情報は右記の通り。

南極教室 in 立川

2月6日(日)柴崎学習館で南極授業が行われました。市内の小学生が南極とリアルタイムで交信。いろいろな質問をしたり、南極の氷の匂いを嗅いだり触ったり。南極昭和基地は夏隊が帰る直前の一番忙しい時期ですが、52次隊長もカメラの前でお話してくれました~。



日時: 平成23年3月26日(土)
午前11時~午後3時半
場所: 国営昭和記念公園 溪流広場レストラン
主な参加予定市町村: 広島県江田島市、新潟県小千谷市、山形県米沢市、長野県下水内郡栄村、長野県南佐久郡川上村、鹿児島県瀬戸内町など



この人 この店 (92)

ピストロ すぎ浦

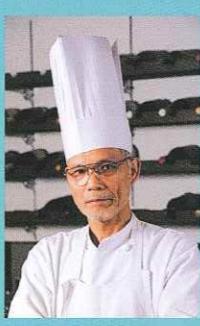
オーナーシェフ 杉浦 章さん



JR立川駅からも、モノレール立川南駅からも徒歩3分で行けてしまうフレンチ。「ピストロだからね」と杉浦さんがおっしゃるように、気軽に入ってお料理を楽しめる、そんな感じのお店です。柴崎町にお店を構えて23年め。日替わりランチを始めいろいろな種類のランチから、今日は2000円のコースのお魚料理を。スープはショウガ風味の野菜のスープ。メインのお魚は、新鮮魚介の盛り合わせ! さっぱり真鯛に、上品な平目、香り高いホタテ、コクのあるえび、火を通したのにまるでお刺身みたいなムール貝。それぞれの味を大切にしながら、

キノコのクリームソースで融合させた一品。季節の野菜が添えられています。デザートは、いちごのタルトにカルバドス風味紅茶のアイスクリームとヨーグルトシャーベット。サラダにパンとコーヒーがついて、ゆったり時間を楽しみながらいただければ、もう大満足です。お友達と、ご家族と、気兼ねなくフレンチを楽しみたい方に、おすすめです。

〒190-0023
立川市柴崎町2-2-23 松村ビル1F TEL 042-525-9929
営業時間 11時30分~14時30分
17時30分~22時30分(L.O 21時30分)
定休日 月曜日



野菜の王国 産直レシピ ⑨

このコーナーはJA東京みどり 立川みなみ農産物直売所との協力でいただいている

野菜のことは野菜をよく知る人に聞くがいい。
野菜のおいしい食べ方を、生産者に紹介してもらうコーナーです。
いつもの調理法、今日はこんな風に変えてみませんか?



〈産直野菜の簡単グラタン〉

◎レシピ◎

材料 (4人分)

- ・カリフラワー 1/4個 ・玉ねぎ 1個
- ・スナックえんどう 適宜 ・小松菜 適宜 ・しめじ 適宜
- ・ペーコン 3枚
- ・マカロニ 100g
- ・市販のクリームパスタソース

作り方

- ①マカロニを硬めに茹でておく。
- ②カリフラワーは小さく切って茹でておき、小松菜は2センチくらいに、玉ねぎも薄切りに、しめじは細かく分けておく。
- ③ペーコンを幅1センチくらいに切って、玉ねぎと炒め、そこに他の野菜を加えて火を通す。
- ④マカロニを加えて弱火にし、市販のクリームソースを混ぜる。
好みで牛乳を加えると柔らかくなる。
- ⑤耐熱皿に④を盛り、上から粉チーズとパン粉を振りかけ、オーブントースターで焦げ目をつける。

※短時間で、豪華に、おいしくいただけるレシピです。中の野菜はどんなものでもOK。

ほっくりジャガイモ、ねっとりカボチャ、シャッキリうどもなかなかです。

表紙の人

寺沢春美さん、安斎恵理さん、安斎リュウキ君、安斎つばきちゃん、安斎碧馬君、榎本加奈子さん、榎本光徳君、榎本慶史君

立川駅南口「美容室でらさわ」さん。この場所にお店を開いて35年!みんな元気いっぱい。寝起きの碧馬君、ちょっとご機嫌なめかな?「あおちゃん! あおちゃん!」カメラマンもテンション上げてがんばりました。



かたこと

◆表紙の撮影はにぎやかでした。こんなに笑った撮影も珍しい。みんながおすましした写真も撮ましたが、やっぱりこっち、これでしょう。家族って、個性が融和してこんな風にまとまるものんですね。◆それにしても国文研さんの深さには驚かされます。江戸時代のマンガから、今度は室町の絵巻もの。来月は「能」の登場です。過去の日本人と交流しながら、改めて日本人であることを実感する毎回。国文研が立川にあるということをもっと大切にしたいなと思います。◆極地研には全国から、世界からいろんな人が集まっています。先日はノルウェー王国の大尉がいらしてましたよ。林原さんも姫路からちょくちょくいらしているみたい。立川っていつのまにか日本の中心になっちゃってる? ◆立女山岳部。先生方の指導と先輩方の応援が陰の支えになって、成長していくヤヤちゃん、ハルちゃん。頑張って下さい。◆5月号から裏表紙でお豆のレシピ始まります。畑のお肉を簡単に楽しくいただいて、みんな元気に健康管理! ◆京都は酢屋さんのインタビュー、5月号に掲載です!

えくてびあん ◎

4月号 第29巻 通巻317号

平成23年4月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082
FAX 042-528-0065
URL www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男
(WATER DESIGN ASSOCIATES)

印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。

皆さまの原稿、お待ちしています!

大好評だった〈パンのある風景〉。3月号で終了させて頂きました。立川には個性的なパン屋さんがたくさんあります。そんなパン屋さんの応援企画として始めたのですが、映画や本のワンシーンを本当に再現することができるだろうか、原稿を書いて下さる方が見つかるだろうか、どうなることやらと思いながらの毎回でした。連載中たくさんのご感想を頂きました。中には「これはすばらしい企画だから、ぜひ一冊の本にまとめるといい」と言って下さる方もあり、皆さまの

お言葉に励まされての1年半。連載も終わりに近づくと、今まで陰で編集作業だけに携わっていたスタッフも書きたくなって、とうとう表に出てしましました。

この企画、皆さまの声に押されて再開を検討しております。次は読者の皆さまに参加していただきたいと考えています。〈私のパンのある風景〉、紙面作り参加希望の方は、下記要領にて原稿をご送付ください。たくさんのご応募、お待ちしております。



応募要項

- 出典作品は映画、小説、詩、エッセイ、マンガなど誰でも観る、読むことのできる作品（自分だけの想い出などはご遠慮ください）。
- 必ずパンの出てくるワンシーンを特定し明記してください（再現するために必要です）。
- 原稿は350字～430字。書式は自由、日本語に限ります。
- ペンネーム可ですが、ご連絡先、本名も明記ください。
- 郵送の場合は、〒190-0023 立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
(有)えくてびあん「パンのある風景」係まで。
- メールの場合は、message@tamatebakonet.jpへ
件名に「パンのある風景原稿応募」と記してお送りください。
- 締め切りは平成23年8月31日（消印有効）です。